

サイモン・フィッツジェラルド | SIMON FITZGERALD

When the Wind Blows – 風吹くとき

10/05 - 11/26 2022

サイモン・フィッツジェラルドの新作による個展は 2017 年「just another day」展以来 5 年ぶりとなります。今回の展覧会の作品は全て 21-22 年に制作された "水彩画" 30 点で構成され、3 期に渡り各期間 10 点ずつの展示になります。

今回の展示作品のタイトルについて言及すると、作品自体が単に観者に語り掛けるものだという事だけではなく世界を提示しているようにも思える。作家が俯瞰した作品から受けた感覚が言葉として降り注がれてきたものであろう。そこにクック中尉の冒険心と作家が修行した瞑想の世界が何処かで絡み合っているように観える。この小品群から新たな感覚を体験されることを期待しております。

When the Wind Blows – 風吹くとき

ジェームズ・クック中尉は金星の太陽面通過を観察するために、ロンドンから太平洋のタヒチに向かう船 HMS エンデバー号を指揮し、1768 年 8 月 13 日にプリマス港に立ち寄りました。そこで出迎えたのは、ジョセフ・バンクス(当時、最も卓越した植物学者になる裕福なアマチュア植物学者)、バンクスの 2 匹の犬と 4 人の使用人、彼の仲間であるスウェーデンの博物学者ダニエル・ソランデル、フィンランドの博物学者ハーマン・スポーリング、天文学者のチャールズ・グリーンと 2 人の芸術家、すなわち、スコットランドのランドスケープ・アーティスト、アレクサンダー・バカンと、スコットランドの植物イラストレーターで自然史アーティストのシドニー・パーキンソンです。

バンクスが任命した 2 人のアーティストは、動植物を収集特定し、それらを鉛筆、木炭、インク、水彩でスケッチブックに記録していました。アレクサンダー・バカンはてんかみを患い、タヒチで発作のため亡くなりましたが、シドニー・パーキンソンは、ニュージーランドとタヒチで出会う先住民の美しい肖像画を含む、1,000 点近くの素描や絵画を制作し続けました。船が 1771 年に最終的にロンドンに戻ったとき、ジョセフ・バンクスは数人の芸術家を雇ってパーキンソンの作品の版画を制作させました。これらの版画は、ジョセフ・バンクスが 1820 年に亡くなった後、大英博物館に寄贈されました。これらの版画の最初の完全なカラー版(『フロリレギウム(植物図鑑)』と呼ばれる)は、1980 年から 1990 年にかけて 34 巻にもなって出版されました。

残念ながら、シドニー・パーキンソンも帰路の航海で亡くなりましたが、発見という考え方を示し、大成功をおさめたこの先駆的な航海は、それ以後、あらゆる航海にはアーティストを伴するという前例となりました。芸術家の目と手は、科学者、植物学者、人類学者、そしてもちろん一般の人々に、彼らが見たものに関する知識を記録し、伝達するための不可欠なツールとなったのです。パーキンソンの作品は、それ自身が芸術作品として保存されており、これを証明するかのようには、テムズ・アンド・ハドソンによって 2018 年に出版された『フロリレギウム』(植物図鑑)のはるかに短いバージョンには、美術史家のメル・グッディングによるエッセイが含まれています。

サイモン・フィッツジェラルド(森口) 2022

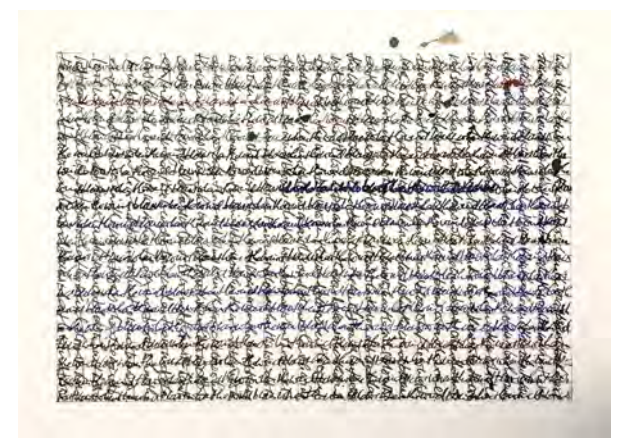
作品リスト

タイトル、年代:

- 1) his glittering eye, 2021
- 2) when the wind blows, 2022
- 3) that silent hour of inward thought, 2022
- 4) of shapes and sounds and shifting elements, 2022
- 5) come forth and feel the sun, 2021
- 6) the dimness of the stars, 2021
- 7) into that silent sea, 2022
- 8) a painted ship on a painted ocean, 2022
- 9) water, water, everywhere, 2021
- 10) day after day, day after day, 2022
- 11) nine fathoms deep, 2022
- 12) a speck, a mist, a shape, 2021
- 13) the sun was flecked with bars, 2022
- 14) her lips were red, her looks were free, 2022
- 15) sparkling rivulets of rain, 2022
- 16) alone on a wide, wide sea, 2022
- 17) seven days, seven nights, 2022
- 18) field of gold, 2021
- 19) blue, glossy green and velvet black, 2022
- 20) I heard a roaring wind, 2022
- 21) the coming wind, 2021
- 22) a noise like a hidden brook, 2022
- 23) never a breeze did breathe, 2022
- 24) neither wave nor wind, 2022
- 25) a meadow-gale of spring, 2021
- 26) the bay was white with silent light, 2022
- 27) crimson shadows, 2021
- 28) brown skeletons of leaves, 2022
- 29) this heart within me burns, 2021
- 30) I pass, like night, from land to land, 2021

手法、寸法:

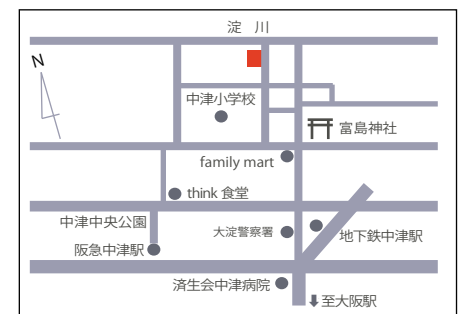
watercolour on paper, 26 x 36 cm each



when the wind blows



blue, glossy green and velvet black



Gallery Yamaguchi kunst-bau

531-0071 大阪市北区中津 3-35-23 シャルム中津 105
T. +81 (0)6 6809 2434 中津駅(地下鉄、阪急)より徒歩 8 分
k-bau@g-yamaguchi.com www.g-yamaguchi.com
営業日: 火曜日-土曜日(日祝休) 12:00 - 18:00 事前予約制